

みつけインターネットショッピングモール 新潟ど真ん中市場 どまいち

施策のポイント

全国でもめずらしい自治体が運営するインターネットショッピングモール。

「日本一健康なまち」を目指している見附市が責任を持ってショッピングモールを運営し、店舗や商品を選定することにより、商品の信頼性を高め、見附市民が愛する商品を自信をもって全国へお届けする。

自治体情報

新潟県見附市

人口 / 42,784人

標準財政規模 / 9,071,655千円

担当課 産業振興課

電話番号 代表 0258-62-1700 内線 221

実施主体 見附市

関連ホームページ <http://www.domaichi.com/>

事業期間 平成 21 年度から

参考とした施策

関係施策分類

施策の概要

1 取組に至る背景・目的

見附市が取り組んでいる首都圏との交流を継続的なものとするため、また、商店街をはじめ、疲弊している商業者の活性化を図ることを目的として、現在一大市場となったインターネットショッピングに、見附の店舗が集まるショッピングモール（WEB 商店街、WEB コミュニティ）を構築し、参加する店舗、市、商工会が一体となり、全国に向けて見附の名産品や各種情報を発信することで、新潟県見附市を知り、身近に感じてもらう、首都圏との交流を促進し、地域の元気づくりを目指すものである。



2 取り組みの具体的内容

見附市が定めた一定の商品基準をクリアした 31 店が集まり、インターネット上でショッピングモールを立ち上げ、各店舗自慢の商品のインターネット販売を行っている。

受注、発送業務は市内商業者で構成される「みらい市場会」が担当し、商品選定、プロモーション、基本的な運営は市が担当する。

飽きのこないページを目指し、季節感を出すような期間限定商品を集めての掲載や売上ランキング、新着情報を随時更新している。

各商品の内容や自店の紹介の更新については各店舗が自店の魅力が伝わるように創意工夫をして更新を行っている。

県内・市内や首都圏での各種イベントでは、パンフレットやお取り寄せカタログの配布、試食販売を行いながら、物産のアピールと新潟見附“どまいち”の名を刷り込み、見附ファンの獲得を目指す。



3 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

参加店舗数：30 店

年間販売目標：500 万円



4 現在までの実績・成果

参加店舗数：31店 商品数：150点 ページアクセス数：10万アクセス
平成21年度売上：100万円（平成21年10月31日オープン～平成22年3月末現在）

5 導入・実施にあたり工夫した点や苦労した点とその対処法・解決策など

産業振興に対する市の姿勢を参加店舗に示し、参加する店舗の意識改革を行った。

店舗の意識を高めるためパッケージ、マーケティング等のセミナーを定期的で開催し、さらに商品の改善を進めている。インターネットを利用しない方のため、お取り寄せカタログを作成し、FAXや郵便でも注文を可能にした。ホームページの構築（システム、デザイン）、商品写真の撮影、見せ方等についてもアドバイザーの指導を受け、通常の店舗販売では実施していなかった商品の良さを伝えることに力を入れている。

各店舗や商品の持つ魅力を全国へ発信するとともに、ショッピングモール認知度を高めるプロモーション活動を行った。見附市民や首都圏在住の見附出身者が利用することにより、ショッピングモールの認知度を高めていく。

6 今後の展開と課題

ショッピングモール認知度を高めるためのプロモーション活動。
各店舗における主力商品づくり等、より魅力的な地域産品の開発。



予算関連データ

総額 ①～⑤の計		財源内訳（財源区分：①～⑤）				
		①国費	②県費	③起債	④その他	⑤一般財源
6,626千円		0千円	0千円	0千円	0千円	6,626千円
①～④の名称、 所管など	名称					/
	所管					
	金額					
	補助率					

提供可能資料：新潟ど真ん中市場 どまいち 出店規約